

乳児てんかん性スパズム症候群で治療を受けた患者さんへ

「乳児てんかん性スパズム症候群のてんかん再発と発達・知能予後に関する脳波周波数解析および機械学習を用いた研究」について

はじめに

名古屋市立大学医学部附属西部医療センターでは、乳児てんかん性スパズム症候群（West 症候群または点頭てんかんも含まれます）と診断され、治療された患者さんを対象に、カルテ、脳波検査結果、発達・知能検査結果等（以下、「カルテ等」といいます）の診療情報から得られる情報をもとに研究を実施しています。

この研究は鳥取大学医学部倫理審査委員会の承認を経て、医学部長の承認を受けています。詳細は以下のとおりです。

1. 研究概要および利用目的・方法

本研究では、1981年2月1日から2023年5月31日までの期間に、鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科と共同研究機関において、乳児てんかん性スパズム症候群（West 症候群または点頭てんかんも含まれます）と診断された患者さんのカルテ等から、情報を集めさせていただき、「治療前後の脳波と治療後の発達指数・知能指数の関係」を調査します。また、それ以外にも、「治療前後の脳波と治療後のてんかん再発の関係」、「てんかん再発と発達・知能予後の関係」、「治療内容と治療後の発達・知能予後の関係」、「治療内容とてんかん再発の関係」、「治療前後の脳波と基礎疾患の関係」、「治療前後の脳波とCTまたはMRIの画像異常の関係」についても調査を予定しています。

すべての情報は、鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科で集計されます。なお、情報は、研究責任者が責任を持って保管、管理します。

本研究の対象となる患者さんは、他の研究対象者への個人情報保護や本研究の独創性の確保に支障がない範囲で、研究計画書及び研究の方法についての資料を入手又は閲覧することができます。希望される方は、遠慮なく問合せ窓口にお申し出ください。

2. 取り扱う情報

患者さんのカルテ等の診療情報から以下の項目を集めさせていただきます。

【患者さんの情報】

性別、周産期歴、基礎疾患、脳画像異常（CT/MRI）、フォロー期間、てんかん発症年齢

【てんかんの情報】

発作型、発作頻度、てんかん性スパズムの経過、てんかん性スパズム以外の発作の経過、ACTH療法の内容、抗発作薬の内容、手術治療の内容

【脳波の情報】

患者さんの治療前および治療後2年以内に得られたデジタル脳波データ

【発達に関する情報】

発達検査・知能検査の結果

3. 研究期間

この研究は、名古屋市立大学医学部西部医療センターでは病院長が研究の実施を許可した日から2027年3月31日まで行う予定です。

4. 個人情報保護の方法

患者さんの情報は、研究責任者が責任をもって保管、管理します。また、氏名、イニシヤル、住所、電話番号、カルテ番号などの直ちに個人を識別できる個人情報は匿名化*され、本研究では匿名化された情報を使用します。このようにして患者さんの個人情報の管理については十分に注意を払います。

*匿名化について：本研究にご提供いただく情報については、患者さんの氏名、住所、電話番号、カルテ番号など、患者さん個人を直ちに特定できるような情報をすべて削除し、代わりにこの研究用の登録番号をつけます。なお、研究の過程で情報がどの患者さんのものかを知る必要がある場合も想定されます。その場合に備えて、情報と患者さん個人を結びつけることのできる対応表を作成させていただきますが、この対応表は研究責任者によって鍵のかかる保管庫で厳重に管理されます。

5. 研究への情報提供による利益・不利益

【利益】

今回の研究に情報をご提供いただいた患者さん個人には、特に利益と考えられるようなことはございませんが、研究の成果は、将来の乳児てんかん性スパズム症候群の治療法の進歩に有益となる可能性があります。なお、情報を使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

【不利益】

カルテ等からの情報収集のみであるため、特にありません。

6. この研究終了後の情報の取り扱いについて

今回、集めさせていただき患者さんの情報が医学の発展に伴い、他の病気の診断や治療に新たな重要な情報をもたらす可能性があります。このため、患者さんの情報は、この研究終了後も保存させていただき、他の研究に使用させていただくことがあります。その場合は、新たに研究計画をたてて研究に参加する医療機関の倫理審査委員会での審査を経て、他の研究に使用させていただきます。

情報は、当該研究の終了について報告された日から5年を経過した日又は当該研究の結果の最終の公表について報告された日から3年を経過した日のいずれか遅い日までの期間保存します。保存期間終了後は、患者さん個人を特定できない状態にして適切に廃棄します。

7. 研究への情報使用の取り止めについて

患者さん個人の情報を研究に用いられたくない、または鳥取大学医学部附属病院への情報の提供を停止したい場合には、いつでも取り止めることができます。取り止めを希望された場合でも、担当医や他の職員と気まづくなることはありませんし、何ら不利益を受けることはありませんので、下記【問い合わせ窓口】までお申し出ください。未成年者の方では、保護者の方(父母、成人の兄弟、祖父母、同居の親族などの近親者)からの研究不参加のお申し出やお問い合わせに対しても対応いたします。

取り止めの希望を受けた場合、患者さんの情報を使用することはありません。この場合には、個人を特定できない状態にして、速やかに廃棄させていただきます。

しかし、取り止めを希望した時点で、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合のように、結果を廃棄できない場合もあります。

8. 当該臨床研究に係る資金源について

本研究は、鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科の研究費で行っており、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

9. 研究成果の公表について

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合も、患者さんの個人が特定される情報は全て削除して公表します。情報の秘密は厳重に守られますので、第三者に患者さんの個人情報明らかになることはありません。

10. 知的財産権の帰属について

本研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は鳥取大学に帰属し、あなたには帰属しません。

11. 問い合わせ窓口

本研究についてのご質問だけでなく、患者さんの情報が研究に用いられているかどうかをお知りになりたい場合や、患者さんの情報の使用を望まれない場合など、この研究に関することは、下記の窓口までお問い合わせ下さい。

【当院の研究責任者】

名古屋市立大学医学部附属西部医療センター 小児科 副部長 小林 悟

連絡先：052-991-8121(代表) 対応可能時間帯：9:45～17:15(平日のみ)

【研究代表者】

岡西 徹 鳥取大学医学部附属病院 脳神経小児科 准教授

〒683-8504 鳥取県米子市西町 36-1

TEL: 0859-38-6777 / FAX: 0859-38-6779

*この研究に関する情報は、鳥取大学医学部附属病院のホームページに掲載しております。

(URL: <http://www2.hosp.med.tottori-u.ac.jp/introduction/3107/>)

【研究実施機関および研究責任者】

岡西 徹 鳥取大学医学部附属病院 脳神経小児科 准教授

大栗 聖由 香川県立保健医療大学 保険医療学部 臨床検査科 講師

小林 悟 名古屋市立大学医学部附属西部医療センター 小児科 副部長

平山 良道 那覇市立病院 小児科 科長

板村 真司 広島市立舟入市民病院 小児科 部長

藤田 貴子 福岡大学病院 小児科 講師

本田 涼子 国立病院機構長崎医療センター 小児科 医長

加賀 佳美 山梨大学医学部 小児科 准教授

夏目 淳 名古屋大学大学院医学系研究科 障害児(者)医療学寄附講座 特任教授